

発注企業動向調査結果

-2023.9-

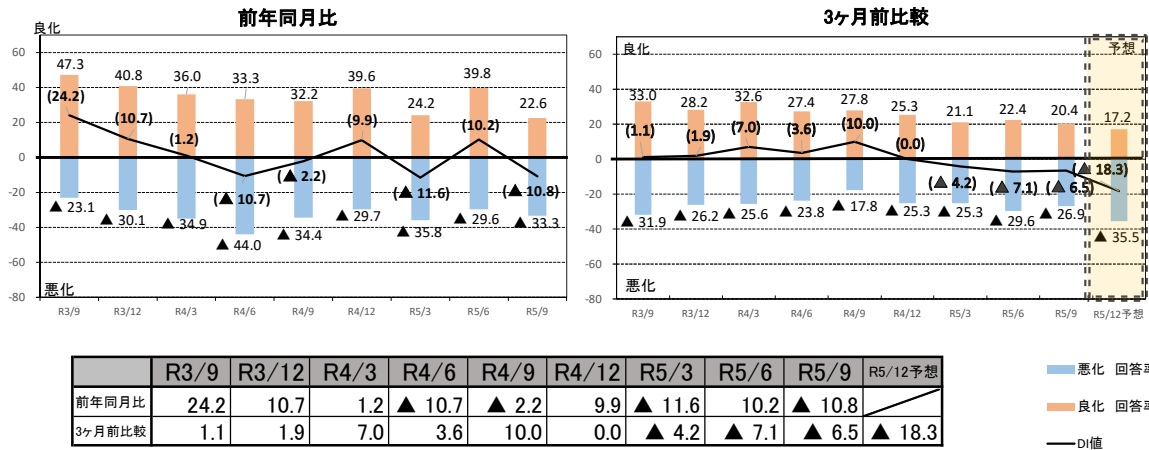
- 調査時点 令和5年9月調査(令和5年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 93社(回答率:62.00%)

<業種内訳>

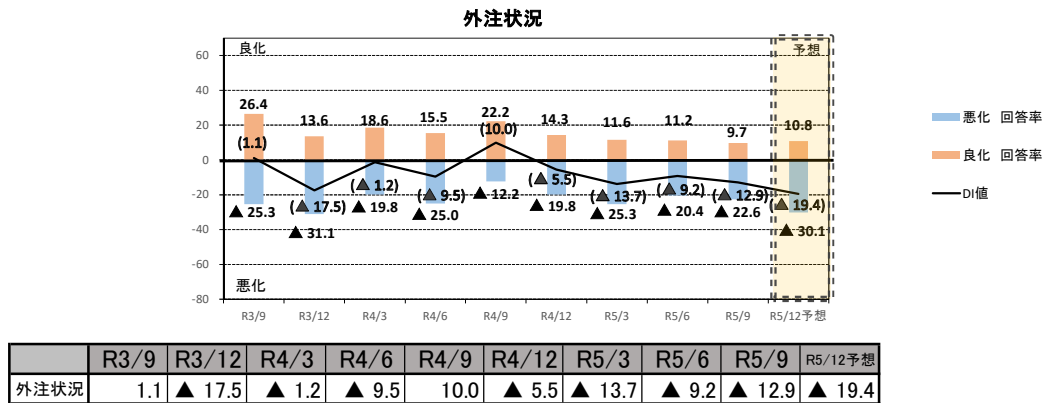
プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	8社
一般機械器具	18社
電気機器	24社
輸送用機器	17社
精密機器	3社
縫製	6社
計	93社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲10.8で前回の10.2から21.0ポイント減となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲6.5で前回の▲7.1から0.6ポイント増となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲12.9で前回の▲9.2から3.7ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲18.3、外注状況が▲19.4という予想になった。
- ・その他自由意見として、
 - ・動きが非常に悪く、昨年の2割減である。
 - ・各ユーザーで在庫調整しているため生産数(受注)減少している。
 - ・中国市場が不透明であること。米国のUAWストライキの長期化影響が懸念される。
 - ・受注状況はあまり良くない。電気代の高騰が厳しい。
 - ・中国向けの車輸出減により売上減。
 - ・前年同月比、増加しているが、品目によっては減少しているものもあり、注視している。
 - ・インバウンドの影響もあり、受注が増えている。人材不足である。

という意見が寄せられた。